

川口 の 教育



【 川口市歯と口の健康フェスティバル 令和6年6月2日（日） 】

第 6 6 1 号

【目 次】

指導の手引き 「主体的・対話的で深い学び」を実現させる社会科の授業

川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 天野 亮 ・ ・ ・ ・ ・ (2)

私の教育実践 「活動していたら国語がわかるようになってきた」と生徒に言わせたい！

川口市立領家中学校 教諭 三上 久美子 ・ ・ ・ ・ ・ (3)

信頼される学校づくりのための参考資料

～学校管理の視点からみる、子供たち・教職員を事故から守る環境づくり～

川口市教育局学校教育部学務課学事係 ・ ・ ・ ・ ・ (4)

教育ルポ

・ ・ ・ ・ ・ (5～6)

6 月号
—令和6年—

指導の手引き 「主体的・対話的で深い学び」を実現させる社会科の授業

川口市教育局学校教育指導課 指導主事 天野 亮

はじめに

現行の学習指導要領により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」が育成すべき資質・能力として整理された。このような資質・能力を育むために「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことが求められている。ここでは、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に示されている「主体的・対話的で深い学び」の視点を提示し、社会科の授業について述べる。

1 主体的な学びの視点

- ・ 学習課題を把握し、その解決への見通しをもつ
- ・ 単元等を通した学習過程の中で動機付けや方向付けを重視する
- ・ 学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定する

見通しをもつことや振り返りに有効な手段として、「単元の『社会科学びの地図』」がある。単元の見通しをもち、初発の自分の考えが授業を通してどのように変容していったのかを振り返ることができる。学習の動機づけについては、課題提示の際にどれだけ「なぜだろう」「知りたいな」と思わせることが重要である。教科書に示されている学習課題をそのまま活用することもあるが、児童生徒の興味・関心を高める教師の働きかけや仕掛けが必要となる。

社会科学びの地図 (3) 中世の日本		
年 組 番 氏 名		
単元を学ぶ問い 中世社会の特色はどのようなものであり、どのように展開し近世へつながったと考えますか。		
初発の考え 問いを解決するために何を考えたり、どの様に調べたりしようかと決めたこと		
小単元 1	小単元の問い：武士はどのように成長していったのだろうか。 ・ 土地の権利を守る武士が職業として生まれた。 ・ 武士が家来衆と成長して、源氏と平家の戦いで活躍した。 ・ 長治は、日本貿易を基盤として高い官職を歴任した。 ・ 源氏は御恩と奉公の主従関係で幕府と御家人を結び付け政権をつけた。	学習を振り返って気付いたこと 知 A・B・C 思 A・B・C
小単元 2	小単元の問い：東アジアとの交流は社会にどのような影響を与えたのだろうか。 (例)	学習を振り返って気付いたこと 知 A・B・C 思 A・B・C
小単元 3	小単元の問い：なぜ、室町文化は多くの人々に広まり、現代につながっているのだろうか。 (例)	学習を振り返って気付いたこと 知 A・B・C 思 A・B・C
単元を学ぶ問のまとめ(例) 土地の権利をもちた上は主従関係を基に武士の職業が成立し、その発展が広まった。南北朝の争いのために幕府の権力が成立し、戦の時に一定の安定が見られた。それによりアジアとの貿易や文化の交流や諸産業の発達、都市や農村における自治的な仕組みが生まれた。足利氏の親政は大名の力を一つづつとるとともに、文化の広まりが見られた。		

「単元の『社会科学びの地図』」

2 対話的な学びの視点

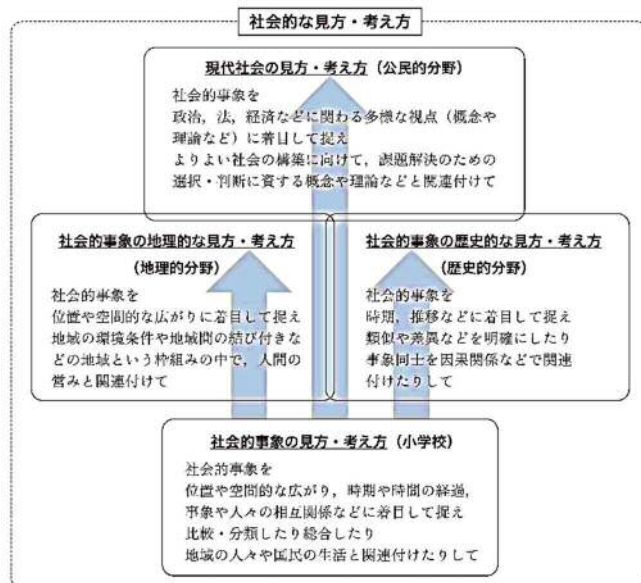
- ・ 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ、深める
- ・ 実社会で働く人々が連携・協働している社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりする活動を充実する

話し合い活動を行う際には、必要感のある話し合いを行うことが重要である。教師が提示する話し合いのテーマによって、児童生徒の考えの広がり方や深まり方が変わる。そのため、教師の意図的な働きかけや仕掛けが必要となる。また、「先哲の考え方を手がかりに考えること」とある通り、資料との対話も対話的な学びの一つと言える。

3 深い学びの視点

- ・ 「社会的な見方・考え方」を用いた考察、構想や、説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究したり解決したりする活動を取り入れる (一部抜粋)

社会的な見方・考え方は、以下に示す通りである。中学校では、社会的事象の地理的な見方・考え方、社会的事象の歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方が示されている。児童生徒に社会科の資質・能力を育むためにも、社会的な見方・考え方に基づいて、児童生徒の思考を深めるために発言を促したり、児童生徒が気付いていない視点を提示したりするなど、教師の働きかけや仕掛けが必要である。



おわりに

中学校学習指導要領解説総則編において、「1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、(中略)実現を図っていくものである」とされている。単元を見通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れていくことが、児童生徒の資質・能力を育むことにつながる。児童生徒の資質・能力を育むためにも「主体的・対話的で深い学び」の視点を意識した授業改善に努めていただきたい。

参考資料：中学校学習指導要領解説 社会編・総則編、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料

「活動していたら国語がわかるようになってきた」と生徒に言わせたい！

川口市立領家中学校 教諭 三上 久美子



1 はじめに

「国語は答えを考えるのが難しい」「登場人物の気持ちなんてわからない」という生徒の声を聞く。国語の読解を、「文章を読んで想像する」から「文章から見つける」に転換したいと考えて授業の組み立てをするようになった。念頭に置いていることは、「生徒自身が気づく、説明する」「生徒のモチベーションをつくる」である。これらを実現できる先行実践を探したり、メディア等からヒントを得たりして授業準備をしている。

2 基本の授業スタイル

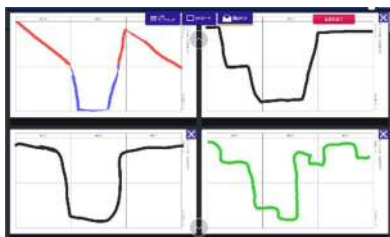
- ・ 前時の振り返りは生徒どうしで行う
- ・ 指示の時間を短くする
- ・ 自分で見つける、考える→伝える
- ・ 4人班を基本に話し合い、学び合いをする
- ・ 発表（説明）は全員1回以上行う
- ・ できた生徒はミニ先生になる（答えは教えない）
- ・ 振り返りを行う

3 生徒側の目的意識づくり

文章や資料から必要な情報を見つける力、見つけた情報を必要に応じてまとめる力を身につけさせたい。その際、生徒が「できそう」「取り組んでみたい」と思える課題を設定することを心がけている。

【文学的文章の読解】

文章中の表現から登場人物の心情を説明するのは難易度が高いが、心情のプラス、マイナスは判断しやすい。「シンシュン」では、シュンタの心情グラフをオクリンクで作り、一人一人文章の表現を根拠にグラフの説明をした。



「盆土産」では、全体で作品のテーマを決定した上で映画化を想定して予告編動画を作成するという課題を出し、テーマを伝えることを目標に活動した。

【説明的文章の読解】

筆者の研究を基にした説明文の場合は、筆者に代わって研究結果を発表するという課題を設定した。教科書の資料を取り込み、スライドに適した表現とはどんなものかを考えながら作成した。



【古典の学習】

「仁和寺にある法師（徒然草）」では、「仁和寺の法師はどんな人か」「かたへの人は話を聞いてどう思ったか」のどちらかについて説明するという課題を出した。課題を説明するために、現代語訳や挿絵を利用して本文の内容を各自で読み取った。難しい場合には、相談や教え合いも可とした。

【文法の学習】

基本的な知識を説明した後は、練習問題を行う。合格した生徒がミニ先生となり、他の生徒の丸付けをしたり、困っている生徒に教えたりする。生徒がミニ先生になることで、理解が難しい生徒へ教員が個別対応できるようになる。この形態により本時の目標を全員が達成できるようになった。

何かを完成させる、課題を解決するという目的を提示することで、生徒は授業に参加する意欲が高まると考える。教え合いや学び合いは、教室が落ち着かなくなる可能性もあるが、生徒にわかる喜びやできたときの達成感を味わわせていくことで授業に主体的に参加していくようになるのではないかと考えている。

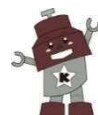
4 おわりに

生徒が興味を持って取り組んでいるうちに力がついているというのが理想である。上記の授業の多くは、光村図書出版のHPを参考にしている。このような授業が成り立つのは、他の先生方の学級・学年経営の成果、特別活動による生徒の成長のおかげでもある。理想にはまだ遠いが、生徒の実態をよく理解し、生徒の成長につながる授業を研究していきたい。



信頼される学校づくりのための参考資料

～学校管理の視点からみる、子供たち・教職員を事故から守る環境づくり～



川口市教育局学校教育部学務課学事係

学校における諸表簿・施設設備の適切な管理とは、「子供たちや教職員を守るとともに、学校の教育環境をよい状態に維持し、誰もが使いやすく把握しやすい環境に整えること」である。ここでは、本年度の学校訪問で大変参考になった取組を紹介する。

AEDの設置場所を教職員・児童生徒・保護者等が一目で確認できる掲示物の工夫



消火器の設置場所と すぐに取り出せる工夫



体育館の熱中症対策



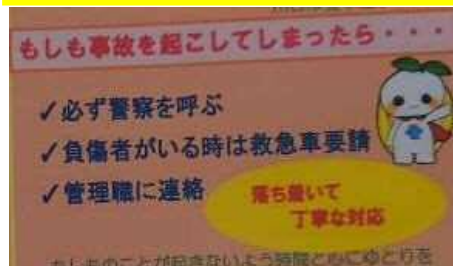
★気温が高くなってくると熱中症のリスクが高まります。「今」をすぐに確認できる表示がポイントです。

安全かつ本数をすぐに確認 できる刃物管理の工夫



★プラスチックケースにウレタンクッションをしき、カッターを管理しています。

交通事故発生時の対応を すぐに確認できる工夫



★教職員一人一人に上記のカードを配付することで、もしも交通事故が発生した場合にも、落ち着いて適切な対応ができます。

施設設備の事故は、児童生徒の命に直結する。管理職や担当者だけが点検するのではなく、組織全体で管理するという意識を共有し、引き続き適切な管理をお願いします。



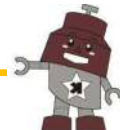
令和6年度 川口市立小・中学校初任者研修の様子



川口市では、初任者研修をはじめ、様々な研修を実施しています。

研修をとおして、教師としての実践的な指導力と使命感を養うとともに、職務遂行に必要な事項について幅広い知見を得ることが出来ます。

川口市の子どもたちのために、豊かな教養と専門的な知識を身に付け、「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる 川口の教育」をチーム川口で具現化していきましょう。



令和6年度 川口市立小・中学校5年経験者研修の様子



教育ルポ 各学校の様子

飯塚小学校



体育館に舞台をつくり、「能楽公演」を行いました。子どもたちは、本物の芸術・伝統文化にふれることができました。

「第70回 全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会川口市予選会」

期日：令和6年5月16日（木）17日（金） 場所：青木町公園総合運動場陸上競技場



「令和6年度 川口市中学・高校水泳記録会」

期日：令和6年6月14日（金） 場所：青木町公園総合運動場プール



快晴に恵まれ、令和6年度川口市中学・高校水泳記録会が開催されました。
生徒一人ひとりが、青木町公園総合運動場プールを堂々と一生懸命に泳ぎ抜く姿が輝いていました。

